



Contents

- ◇ 会長室から、こんど～です
- ◇ 経営まめ知識：『働き方改革』について
- ◇ いまさら聞けない相続税の仕組みシリーズ

11

2016 Vol.156

たいせい通信のメール配信をいたします。

ご希望される方は、下記のメールアドレスに、件名を【たいせい通信メール配信希望】とし、お名前、会社名、電話番号を明記の上、送信ください。

info@taiseikeiei.co.jp



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、
企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発・・・・・・・・財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)大成財産コンサルタンツ・・・相続相談・終活相談・資金調達運用
会社売買・生命保険損害保険 <http://www.fzc-souzoku.com>
(九州相続センター) 不動産・営業支援代理店業
- ◆(株)アップワード エスト保険・・・・生命保険、損害保険 <http://www14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフェクション・・・・居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング・・・・商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

■大成経営総合事務所

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・徳留税理士事務所・浦野税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所・社会保険労務士あきおか事務所・おかもと社会保険労務士事務所・いしはら社会保険労務士事務所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

(株)大成経営開発 統括室発行 Tel : 096-377-1101 Fax : 096-377-1114

会長室から、こんど～です

11月に入り、突然気温が下がり熊本は寒くなって来ました。

こんな季節になると鍋物が恋しくなります。

今年は地震や異常気象により、台風が北海道に3回も上陸したりして、野菜が高くて、びっくりしています。

そんなこと言いながら、いつ「鍋」して食べようかなと思ってます。

最近どこへ言っても聞く人手不足の声、弊社もパートさんから正社員まで幅広く募集しております。

今も隣で部長がいろいろなところに電話で手配しています。

さて今月は**経費削減**について考えてみたいと思います。

経費削減とは、前例主義を壊して企業の財務状況を改善し、やり方や仕組みを変えて生産性を上げることです。

これは一つの方法ではありますが前例（前からこうやっているから）にとらわれていては何も出来ません。以前、小泉前総理が言いました【**自民党をぶっ壊してやる**】このくらいの覚悟を持ってやらなければ長く続いている仕組みは替えられません。**経費削減の目的は利益の追求です。**

経費削減（とにかくお金を使わないこと）これまた違います。

経費削減で10の効果を上げてもその結果、不都合が生じ生産性が20下がるならば結果10の効率低下です。

それならばしない方がいいということになります。

ポイントは

目的を明確にする

現状把握して今までの当たり前を疑う（なぜ電話を使うのか？メールでいいじゃないか！）

目標を設定する（ちょっと無理かなくらいの数値目標）

目標達成へのスケジュールと役割分担を明確にする

削減計画を徹底する

社長自ら責任者になり社員は計画にそって実施する

これらのポイントを外さないようにして全社で取り組んでいきます。

こんなことを経理事務に置き換えると

振替伝票は手書きでないといけないか？⇒そんなことはありません。税法上義務付けられているのは総勘定元帳と仕訳帳です。

パソコン会計で入力してあるものはいつでも印刷ができます。

入力したあとで必要ならば印刷すれば良いのではないのでしょうか？

伝票を書く時間を入力に当てれば紙や書く時間を削減できます。

こんなふうに他のことも置き換えて考え、経費削減し効率化を図り生産性を上げていけば、この人手不足も少しは解消されるかもしれません。

ありがとうございます。



(株)大成経営開発会長 近藤記

経営まめ知識：『働き方改革』について

早いものでもう11月です！！みなさま如何お過ごしでしょうか？今年は熊本震災や全国だけではなく、世界中で地震が起きていますね？？何かと忙しく落ち着かない1年になりました。

ところでいま政府が『働き方改革』について色々な施策を推進しています。何故いま働き方改革を叫ぶのか？また賃上げを叫ぶのでしょうか？

・原因を列挙してみます！！

1. グローバリゼーションの時代。
2. 人口減社会。
3. ICT（情報通信機器）の普及とIoT（あらゆるモノがインターネットに繋がる事）の導入。クラウド・AI（人工知能）・ロボットなど。
4. 日本の労働生産性が、他の先進国に比べて特に中小企業がサービス業などで低い事。
5. ワークライフバランス（＝ライフワークセルフ）の推進。
6. リモートワーク（在宅勤務）などの導入による有給休暇・介護休暇・育児休暇などの推進と雇い止めの推進などでしょうか？

・それでは、その対処方法を列挙してみます！！

1. 企業内における内勤者や工場労働者のICT武装によるIoT・クラウド・AI・ロボットなど導入による生産性の向上。
2. 企業外部に対しては特化された時流に乗った自社の強みの商品販売。
3. グローバリゼーション化された情報化社会におけるネットを通じた販売。（ネット販売のみならず情報を集めた販売方法）

・働き方改革の原因とその対処方法における考え方とその効果！！

（原因）

まず政府が働き方改革を叫ぶ原因は、上記の通り人口減社会における人手不足とグローバリゼーション時代における労働生産性の向上と賃上げのためです。

（対処方法と考え方）

それであるならば経営の仕組みを根本から変えるくらいの覚悟で社内の労働生産性という仕組みを見直して見る必要があります。昨日までのやり方考え方で良いのか？仕事の棚卸しとその洗い直しです。単純労働などの人が変わる部分のICT・IoT・AI・ロボット・クラウドなどへの置き換えです。そして無駄な仕事を省く事です。日本全国に同業他社を含めてその導入事例は、たくさんあります。それを導入して生産性を上げる必要があります。

（効果）

企業は売上を上げる事については、いつの時代も必死です。ところがどんなに頑張っても利益が出ないという時は、経営のカラクリとしてその仕組が悪いことが多々あります。販売についての仕組み。企業内部という生産性の仕組み。そしてこの2つをつなげている仕組みについて、いま一度見直してみても如何でしょうか？

今から本当の人口減社会が来ます！！またグローバリゼーションは、始まったばかりです。それであるならば徹底的に働き方改革と経営の利益がでるカラクリという仕組みについて、仕事の棚卸しで昨日までの仕事のやり方を見直してみたいものです。

最後になりましたが、初秋になり肌寒い季節となりました。健康にはくれぐれも注意され、益々のみなさまの健闘を祈念いたします。

（熊本事務所にて）



会議長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています！是非読んでください！



いまさら聞けない相続税の仕組シリーズ

「現経営者からみた事業承継」

事業承継のご相談が増えております。

現在の日本の中小企業の多くは**後継者不足**といえます。

親族内承継が出来ない場合には、**M&A**を利用し第三者へ会社を引き継ぎ雇用を維持する方法も今後さらに増え続けていく事でしょう。

とはいえ、今回の話のご相談の多い**親族内承継**の感情的なお話です。

前回までの大成通信の中では、株式の移動＝事業承継という事をお話しをしておりました。

移動する時の税金が気になるという事から、株式のスムーズな移動をご提案をしています。

株の移動と親の相続を上手くすれば、財産を多く残す事など、相応にメリットはありますが実務上は親族だからこそ、より感情的になる事があります。

- **事業承継についての話はお互いに切り出しにくい**
- **具体的にどのようにやっていくかが、分からない**

等の理由で、先送りになり、後の大きな問題に発展する事もあります。

私が現場で感じる現経営者の事業承継に対する感情を挙げてみます。

- **子へ借金を残したくない。**
- **従業員との関係は大丈夫なのか。**
- **お客様や関係業者との関係をうまくやってくれるのか。**



等、心配される一方で

- **自分のやり方(時代に合っていない等)を否定される。**
- **経験不足、考えが地に足がついてなく夢物語**
- **指導しようにも、反抗ばかりで話を聞かない。**
- **お客様や関係業者とのコミュニケーション(飲み会)等が積極的ではない。**

等、後継者への不満もあるようで、または

- **銀行からの評価が悪い状況で引き継ぐのは恥ずかしい。**
- **引退してしまうと自分が身の粉にしてきたものがなくなってしまいそうで、寂しい。**
- **収入がなくなる。**

等、ご自分の事に関しての心配もあると思います。

だったら、自分は働けるまで社長でいて、株式も自分が死んだ後で良いのでは？
現状維持が良い。という思考になります。

ただ、上で述べた感情は、当たり前前の感情で、事業承継を考える上で誰にでも理解できます。
しかし、この感情によって「なにもしない」事を即決する事は問題を先送りにする事にしかありません。

大切な事は、現経営者の尊厳を守りつつ、会社や後継者、関係者の将来を維持していくことであると考えます。

あくまで、事業承継とは会社のすべてを手放す事ではなく、銀行保証などを後継者へ移行し、実務上は俯瞰的に会社をみて、自由な立場で指導していくという事であると思います。

 岡村泰



編集後記：早いもので11月となりました。先月は鳥取でも「震度6弱」の地震が起きてしまいました。被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。11月になって急に寒くなり確実に冬が近づいてきています。紅葉はまだまだですが、阿蘇の牧草地帯ではススキの黄金の絨毯が広がりとっても綺麗でしたよ。